

福島の現状：グラツィアーノFAO事務局長「食品の安全性に懸念を示す如何なる理由も見当たりません。」

皆さんはFAOという組織を知っていますか？FAOとはFood and Agriculture Organization of the United Nationsの略称で、食糧・農業分野における世界で最も権威のある国連の専門機関です。先日、そのFAOのトップであるグラツィアーノ事務局長が訪日し、「現時点では、（福島の）食品の安全性に懸念を示す如何なる理由も見当たりません。」と仰いました。発言の詳細は以下のとおりです。

「事故から6年経ちましたが、私たちはすべての食べ物や事故の影響を受けたすべての地域を監視し続けています。一例を示させていただきますと、我々は月平均20,000～30,000のサンプルを分析し、ウェブサイトにてこれらの情報を自由な協議に使っていただくように掲載しています。」

「我々が皆様に保証できるのは、我々はこの地域で発生する全ての個々の問題についてコントロール出来ているということです。そして、我々が言わなければならないのは、この困難な状況に直面して、日本政府は非常に協力的で非常に透明性があるということです。」

「現時点では、その食品の安全性に懸念を示す如何なる理由も見当たりません。」

そして、検査は継続されており、モニタリングシステムも整っており、国際的なプロトコルが遵守されており、我々がもう継続が必要ではないことを保証できるようになるまでは、我々はそれらを継続的に実施します。しかし、現時点では懸念を持つ如何なる理由も見当たらないと言わなければなりません。」

このグラツィアーノ事務局長の発言に、福島の復興に尽力してきた関係者はとても勇気づけられました。我々は、これからも食品の安全性確保のために全力を尽くして参ります。

※外務省関連ウェブサイトページ

●グラツィアーノ国連食糧農業機関（FAO）事務局長の訪日

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ecm/es/page23_002028.html

● 藪浦外務副大臣のふくしまスイーツ賞味会及びFAO親善大使発表イベントへの出席（結果）

http://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press1_000148.html』

※FAO関連ウェブサイトページ

●Japan is a global model for healthy diets, FAO Director-General says（英語のみ）

<http://www.fao.org/news/story/en/item/885019/icode/>